

平成 28 年度文部科学省 「課題解決型高度医療人養成プログラム」

「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」 キックオフ・セミナー

1. 日時 平成 29 年 1 月 29 日（日） 13:30 ～ 15:30

2. 場所 名古屋市立大学 桜山キャンパス さくら講堂

3. 内容

① 主催者あいさつ

名古屋市立大学 学長 郡 健二郎

② 文部科学省 本プログラムの事業について

文部科学省高等教育局医学教育課長 寺門 成真 氏

③ 名古屋市立大学のプログラム概要説明

名古屋市立大学大学院 医学研究科

精神・認知行動医学 教授 明智 龍男（本プログラム推進責任者）

④ 名古屋市立大学病院長あいさつ

名古屋市立大学医学部附属病院 病院長 城 卓志

⑤ いたみセンターの取組みについて

名古屋市立大学大学院 医学研究科

麻酔科学・集中治療医学 教授 祖父江 和哉（いたみセンター長）

⑥ 特別講演 「なぜ今?慢性痛対策が重要なのか?」

大阪大学大学院医学系研究科

疼痛医学寄附講座 教授 柴田 政彦 氏

⑦ 閉会の辞

名古屋市立大学大学院 医学研究科長 浅井 清文

【司会】 名古屋市立大学大学院医学研究科 麻酔科学・集中治療医学 杉浦 健之

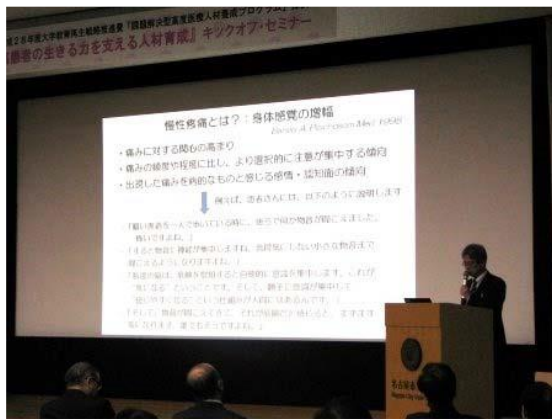
4. 参加人数 79 名

平成 28 年度に文部科学省課題解決型高度医療人材育成プログラムとして名古屋市立大学の「慢性疼痛患者の生きる力を支える人材育成」事業が採択されました。

このセミナーでは、事業推進責任者である明智教授より本事業の概要や、センター長である祖父江教授より新設される「いたみセンター」の取組みについて紹介が行いました。

また特別講演では、大阪大学の柴田政彦教授に「なぜ今?慢性痛対策が重要なのか?」というテーマで、素晴らしいご講演もしていただきました。

これから始まる多職種の医療人の育成を様々な人に知ってもらえる貴重な機会となりました。



明智龍男 教授



祖父江和哉 教授



大阪大学 柴田 政彦 教授